

「長生きしてよかった」と実感できる社会を！

9月議会には、「年金制度の拡充を求める請願」「後期高齢者医療制度の廃止を求める請願」が提出されました。

現在、長引く不景気のもとで、生活保護世帯が増加していますが、特に高齢者世帯は、低年金・無年金や病気などにより貧困に

陥り、生活保護を開始する人が増えている状況です。

社会を支えてきた高齢者が「長生きをしてよかった」と思える社会や政治の実現が求められています。



介護保険制度～ホームヘルパーの機械的な時間短縮は改善を！

今年4月の介護保険改定により、ホームヘルパーによる生活援助の時間の区切りが大きく変わりました。その結果、これまで60分間の援助が受けられていた高齢者が、45分間の援助に短縮され、様々な問題が現場で起こっています。

「時間不足で洗濯ができなくなった」「食事をつくる時間がな

く、惣菜をスーパーで購入するようになった」「利用者との会話をする時間が減った」など、現場で働くヘルパーの声も寄せられています。

福祉子ども委員会では、市としても実態を調査することや、機械的な時間短縮がなされないよう指導・周知することを求めました。

「年金制度の拡充」「後期高齢者医療制度廃止」を求める請願は不採択に！

25年間納めなければ1円も支給されない年金。また、国民年金の平均受給額は、わずか月4万円台。加えて、さらなる年金削減も計画されています。市議会に提出

された「年金制度の拡充を求める請願」について採択を求めましたが、共産党の賛成のみで不採択とされました。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

NO. 818

2012年9月23日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

「敬老祝い品」は、他都市並みに増額し「祝い金」へと改善を！

高齢者のこれまでの労をねぎらい、また長寿を祝う事業が「敬老祝い品事業」です。

しかし熊本市では、この間、金額が減らされる一方、2004年からは、現金から品物に変わりました。

右の表は、九州内の政令市比較ですが、熊本市の水準は他都市に比べ極端に低い水準です。敬老祝

敬老祝金（品）の九州内政令市比較

	熊本市	福岡市	北九州市
	祝品	祝金	祝金
80歳	1000円	1万円	1万円(77歳)
88歳	2700円	2万円	2万円
100歳	2万7000円	3万円	3万円(99歳)
101歳以上	2700円	1万円	5万円

品については、金額を他都市並みに引き上げ、祝い金へとするよう求めました。

鍼灸・マッサージへの助成回数の削減を見直し、拡充を！

鍼灸・マッサージに対する助成については、従来60回／年だったものが、2010年には45回、2011年以降は30回と半分に減らされてきました。高齢者をはじめ多くの市民が利用しやすいよう助成回数の拡充を求めました。

（控室から） なすまどか
 「私たちは負けない」
 馬奈木昭雄弁護士からの聞き取りをまとめ刊行された「たたかい続けるということ」をいっきに読みました。馬奈木弁護士は、水俣病、じん肺、諫早湾干拓など、人の生業や人生に深くかわる訴訟に関わってこられた方です。自らの生きがいを「被害者といっしょになって『泣くこと』『笑うこと』『一緒に変わっていくこと』と表現しているように、常に被害者とともにたたかってきた歴史がこの本には刻まれています。私自身も様々な要求をかげ、幸山市長はじめ執行部のみなさんと論戦を行うなかで、ともすれば、議場だけが「たたかいの場」であるかのような誤った認識をもつ時があります。しかし、この本を読み改めて思ったことは、市民とともに考え、行動し、共にたたかっていくという大局を常に忘れてはならないということです。
 「私たちは絶対に負けない」という馬奈木弁護士の言葉には続きがあります。「—どうしてか。勝つまでやるからです。」
 こうした不屈の姿勢に学びながら、市民とともに要求を掲げ、頑張りたいと思います。

20 年連続黒字、もうけ過ぎの水道料金は引き下げを!!

2011 年度決算は、20 億 5100 万円の純利益

2011 年度決算は、20 億 5100 万円の純利益。熊本市水道事業は、20 年連続の 20 億円を超える純利益をあげる優良・健全企業です。

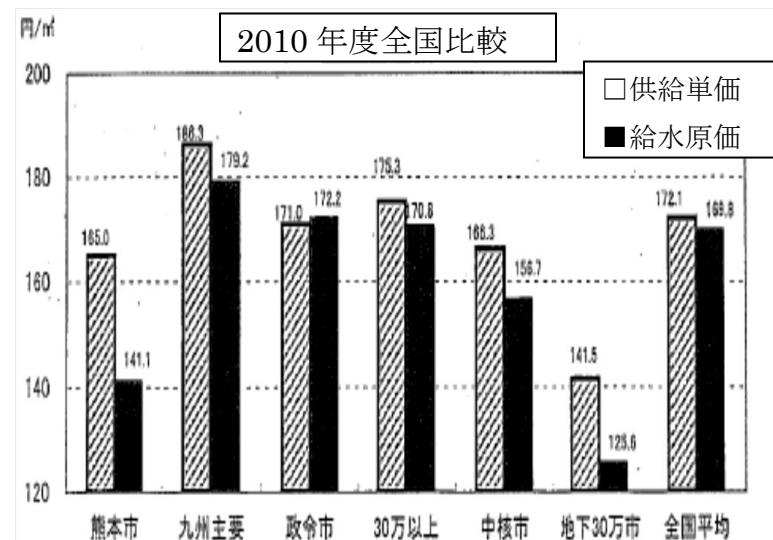
09 年、日本共産党の提案で、10トン以下の従量料金改定を行い、約 3 分の 1 を占める単身世帯など小水量使用者への引き下げが実現しました。しかし、上下水道料金合わせても、1 億円余りの軽減に止まっています。

水道法第 1 条では、「清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与する」とあります。熊本市水道は、「お客様を真ん中にした事業運営」を基本方針としています。市民に還元し、10トン 1102 円の現行基本料金を引き下げ、廉価な水道料金にするべきです。

地下水 100%の魅力で 廉価な水道料金を!

100%地下水の熊本市の水道は、全国に誇れる熊本市の魅力です。1 トン当たりの水道水をつくる原価（給水原価）は、141.1 円です。ダムや河川水に頼る政令市の給水原価は平均 172.2 円。地下水利用の熊本市水道は、30.1 円も安くて済みます。

問題は、水道料金に当たる供給単価を 165 円と 23.9 円も高く設定していることです。地下水 100%の魅力を活かし、廉価な水道料金への引き下げが求められます。



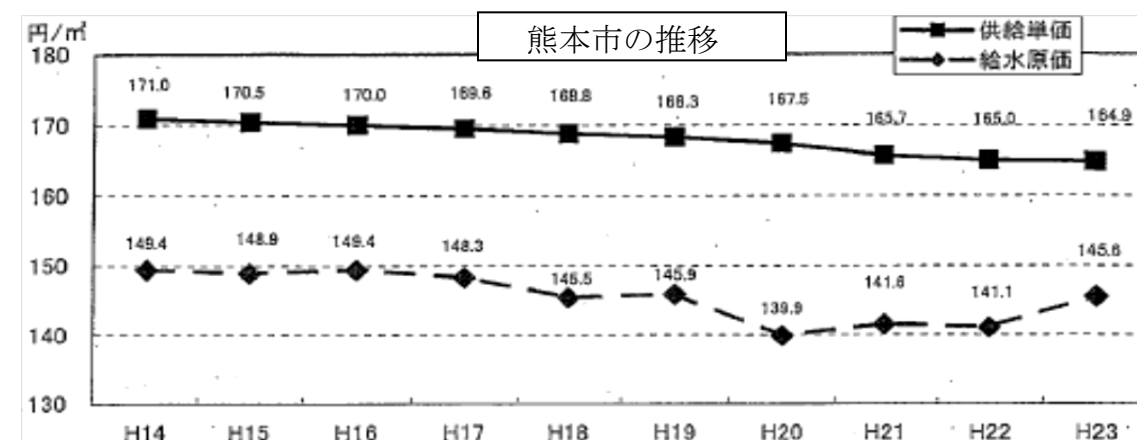
	熊本市	九州主要	政令市	30万以上	中核市	地下30万市	全国平均
供給単価	165.0	186.3	171.0	175.3	166.3	141.5	172.1
給水原価	141.1	179.2	172.2	170.8	156.7	125.6	169.8

全国平均より高い料金回収率 113.3%

(料金回収率 = 供給単価 / 給水原価 × 100%)

料金回収率は、100%で収支トントンです。政令市平均は、99.3%、全国平均は 101.3%です。ところが、熊本市は、113.3%とずば抜けて高く、もうけ過ぎの料金体系です。供給単価と給水原価の推移は下表の通りです。

熊本市水道の供給単価・給水原価の推移



政令指定都市でも水道料金引き下げが実現

名古屋市 10%引き下げ、静岡市 3.2%引き下げ

名古屋市では、基本料金を 10%引き下げ 698 円。静岡市では、平均 3.2%引き下げ、1020 円です。

政令市5番目に高い水道料金の引き下げを!

熊本市の水道料金は、10トン 1102 円です。政令市比較では、20 位中 5 番目に高くなっています。予算決算委員会の締めくくり質疑で、益田牧子議員は、市民生活に密着した熊本市の水道料金の引き下げを求めました。

上下水道局は、「現行の料金水準を今後も維持する必要がある」との答弁に終始しました。水道事業は公営企業であり、「営利企業」ではありません。熊本市でも、料金引き下げのために力を合わせましょう。